東京生協ニュース
まど

第 373号　2024年(令和6年) 3月15日発行

コンクリートで夢を形に!!

東京地区生コンクリート協同組合
〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号
電話番号　（０３）３２７１－２１８１
URL:https://www.t-namakyo.jp/
発行責任者　高　村　尚

＝協組の動き＝

(3月)

11日(月)　理事会(No. 1213)
25日(月)　理事会(No. 1214)

(4月)

2日(火)　登録販売店会議
8日(月)　理事会(No. 1215)
22日(月)　理事会(No. 1216)

【第48回 通常総会】
日時：5月20日（月）
12時30分～
場所：第一ホテル東京

年度末は大忙し!
皆さま、お疲れさまです

生コンクリート業界の存続と次世代のために！

生コンクリートの原材料や産廃処理費などの高騰による大幅なコストアップの直撃を受け、組合員各社の経営は依然として悪化の一途を辿っています。これまで経験したことのない経営環境改善を目指し以下４項目の最重要施策に取り組んでいます。

①新たな販売方式による適正価格の獲得

2024 年 4 月より定価を 22,000 円/㎥とするとともに、新たに販売契約方式１年間の期間契約による出荷ベースとすることに取り組んでいます。全国生コンクリート協同組合連合会推奨の下、与党各党の生コン議員連盟及び経済産業省・国土交通省からの賛同も得ています。需要家様からの抵抗は大きいですが、ご理解を得るよう粘り強く交渉しています。

②安定供給の確保

適正価格をお願いするからには、引き続き高品質の生コンクリートを安定供給することは責務と考えています。運転手の積極採用を行い､2024 年問題に真摯に取り組んでいます。

③戻りコン･残コン削減と出荷キャンセルの減少

持ち帰りコン（戻りコン・残コン）の有償化を実施し削減を目指してきましたが、期待した効果には繋がっていません。一方産業廃棄物処理場の処理能力は限界に近づき、受け入れ制限も実施され処理費の高騰が続いています。また、脱炭素に向けた取り組みのひとつとして、持ち帰りコンの削減は大きな課題と捉えています。よって､残コン有償化の東京協組独自ルール(最終車の有償対象外など)を撤廃し､近隣協組と同様のルール改定を検討しています。

④完全週休２日制への取組み及びスライド改定

東京協組では政府の推進する働き方改革の取組みを踏まえ､組合員の職場環境の改善､また人材確保の観点から完全週休２日制を 2025 年 4 月より導入する検討に入りました。また、原材料価格の高騰に伴う配合値差スライドの是正のほか､特殊品や環境配慮型の増加など､現状に合った変更を 2025 年４月の改定を目途とし検討しています。

2023年度（4～2月）出荷実績と今後の展望

当協組の 2023 年度上期出荷実績は、前年比89.2%　年初計画比86.7%の 1,300 千㎥と前年、年初計画とも大きく下回りました。下期に入り出荷数量が少しずつ回復しています。2 月までの出荷実績は、前年比 98.6%　年初計画比 91.1%の 2,496 千㎥で前年実績をやや下回っています。これは、建設作業員不足に加え、建設資材などの高騰による設計変更や建設計画自体の見直しで都心部での再開発工事や新規工事で遅れが生じ始めたことによるものと推測されます。年度内はこの状況が続くとみられ、2023 年度の出荷数量は、前年実績に対し微減の、2,746 千㎥と想定されます。また、2 月末の契約残数量は、3,782 千㎥で前年比 80.3%と 3 年前の水準まで下がっています。

2024 年度の需要想定は、3,000 千㎥を見込んでいますが、設計変更や建設計画見直しに加え 2024 年問題など出荷数量に影響を及ぼす懸案を抱えてのスタートとなります。大幅に遅れていた品川地区再開発工事向け出荷もこの夏までに山場を越え、日本橋・八重洲地区の再開発工事が最盛期となる見込みです。慢性的な運転手不足のなか、出荷予定の取り消し忘れや直前変更及びキャンセルも減少していません。また、当日の大きな数量減も頻繁に見られ、輸送力低下に繋がっています。安定供給を果たすためには、運行効率の改善に大きく寄与する予定精度の向上を需要家様に強く要請いたします。

2023年度　実績（4月～2月）と見込み（㎥）

月	2022年度実績	2023年度実績見込	前年度比	2023年度年初計画
4	265,419	205,239	77.3%	260,000
5	229,951	198,051	86.1%	230,000
6	262,883	229,019	87.1%	260,000
7	236,705	228,611	96.6%	260,000
8	218,344	203,883	93.4%	230,000
9	244,603	235,188	96.2%	260,000
上期計	1,457,905	1,299,992	89.2%	1,500,000
10	231,789	255,729	110.3%	260,000
11	233,927	252,040	107.7%	260,000
12	231,391	258,035	111.5%	260,000
1	174,879	199,242	113.9%	210,000
2	202,254	231,177	114.3%	250,000
3	237,845	250,000	105.1%	260,000
下期計	1,312,085	1,446,223	110.2%	1,500,000
年度計	2,769,989	2,746,215	99.1%	3,000,000

※3月は月初想定

スーパーボウル

山下　信二

年を取ると月日が経つのも早いもので、前回この「まど」で自己紹介をさせていただいて２年半が過ぎて再度順番が回ってきたようです。何を書いてもいいとのことでしたので、今回は２月に行われたアメリカ最大のイベント、アメリカンフットボールのスーパーボウルについて、感想を交えて紹介させていただきます。

以前は NHK でも放送されていたのですが、最近は放映権が高いのか、円安のせいなのか、大谷選手の全試合を購入して予算がないのかわかりませんが、ダゾーンでしか見られなくなりました。しかしながらアメリカでは、今年のスーパーボウルは史上最高の視聴率でした。対戦カードは、名門サンフランシスコ 49ers と連覇を目指すカンザスシティチーフスです。49ers のクオーターバックは、２年前のドラフトで最下位指名のブロック・パーディで、年俸１億円余りの安上がりの選手です（大谷選手の１試合分らしい)。１チームの年俸総額の上限が決められているので、他の選手に大金を払える 49ers は、今最高の状態にあるといえます。

一方の連覇を狙うチーフスのクオーターバックは、パトリック・マホームズで、ドラフト１巡目指名のスーパースターです。父親は、大リーガーで横浜ベイスターズにも在籍したピッチャーで、球は早く足も速いという選手でしたが、あまり活躍はされず酒気帯運転で何回も捕まっているようです。いずれにしろマホームズは、野球経験もあり、恵まれた投球力と脚力を生かし冷静で決断力のあるスターに上り詰めました。

対照的なるクオーターバックに率いられた両チームの試合は、一進一退予断を許しません。お互いに、相手の攻撃に対処した堅いディフェンス、ディフェンスの意表を突くプレイを繰り出し目の離せない試合になりました。共に HC（監督）を中心にオフェンス・ディフェンスのコーディネーターが力を合わせ、分析とプランを駆使して、体力と知力を限界まで引き出します。余談ですが、激動する建設業界の中で、生コン協同組合もこのように分析とプランニングと役割分担と実行力が必要だなと痛感します。大阪広域協の理事長もアメリカンフットボールの経験者ですが、アメラグは協同組合運営に役立つか否か検討を加える必要があるかな？

ともあれ試合は、ドラフト最下位のブロック・パーディ率いる 49ers が先行し、チーフスが追いつく形で進み、残り２分を切った攻撃でマホームズの魔法のような試合運びで同点となり延長戦に入りました。この間、日本公演を終えてチーフスの応援に駆け付けたテイラー・スウィフトさんばかり映ります。私はいろんな男性との恋物語を歌っている女性ぐらいに思っていましたが、アメリカではグラミー賞を４回も取った最も人気のあるスーパースターです。時代遅れで国際感覚のない自分が恥ずかしくなります。彼女は今チーフスの TE ケルシーの恋人で、このスーパーボウルを最高視聴率に引き上げた立役者だそうです。試合は延長戦でまたも 49ers が先行するのですが、終了時間ギリギリにチーフスが逆転のタッチダウンを決め終了しました。

判官びいきの私としては、49ers に勝ってほしかったのですが、女神に守られたチーフスに敗れました。最近マスコミでは、世界のスポーツイベントも日本人が出ている競技で、日本人を映す傾向が強すぎると思います。スポーツは平等で扱われることを祈って、いつかダゾーンではなく NHK の BS でスーパーボウルが見られる日を期待したいと思います。

（川崎宇部生コンクリート㈱
取締役社長）

（出荷数量）

	2月（実績）		3月（想定）			（引合、成約、契残）2月（実績）	
		前年比		前年実績比			前年比
大型	208,811 ㎥	119.1%	220,000 ㎥	104.6%	引合	208,500 ㎥	224.5%
小型	22,366 ㎥	82.9%	30,000 ㎥	109.3%	成約	174,401 ㎥	214.8%
計	231,177 ㎥	114.3%	250,000 ㎥	105.1%	契残	3,762,672 ㎥	81.8%

2023年度「共販・経営者セミナー」開催

全生連関東Ⅰ区地区本部・東京都工組

全国生コンクリート工業組合連合会関東Ⅰ区地区本部と東京都生コンクリート工業組合は、2 月 16 日(金)に都内のホテルにおいて 2023 年度の共販・経営者セミナーを共同開催しました。

今回は二部構成での演題で、第一部は東京都政策企画局の安倍文洋技監が講師として招かれ、「TOKYO 強靭化プロジェクト概要」のテーマで講演をされました。本プロジェクトは総事業規模 17 兆円、内、今後 10 年間で 7 兆円の予算が投入されるものであり、冒頭、主催者を代表して挨拶された斎藤本部長は「生コン需要開拓の為、数年間に亘って東京都議会に業界として働きかけてきた東京強靭化対策の実行」が現実のものとなったことに触れ、引き続き来賓として招かれた東京都議会自民党幹事長代行の小松大祐都議会議員より、東京都政を代表して、「TOKYO 強靭化プロジェクト」の内容説明の機会を得られたことに対する謝辞が述べられております。

尚、本プロジェクトについては講演の中で以下の内容説明が有りました。

(1)「地震への備え」(緊急輸送網の拡充、耐震化、不燃化、無電柱化など)
(2)「風水害への備え」(豪雨対策、高潮対策)
(3)「火山噴火への備え(富士山噴火対策)」(道路啓開体制、降灰除去)

引き続き第二部のテーマは「環境負荷低減に向けた取り組みについて」で、全国生コンクリート工業組合連合会企画部の草野昌夫部長より、以下の内容説明が有りました。

(1)「カーボンニュートラルとは」
(2)「なぜカーボンニュートラルを目指すのか」
(3)「カーボンニュートラルへの取り組み(外部)」
(4)「全生連の取り組み」
(5)「今後の課題、取り組み」

東京都工組創設50周年記念祝賀式開催

2 月 16 日の「共販・経営者セミナー」閉会後に、同じホテルにおいて、東京都工組の組合員各社を始め、セメントメーカー等の関係者の来賓出席の下、1974 年 1 月に創立された東京都工組の 50 周年記念祝賀式が開催されました。

冒頭、主催者を代表して挨拶された斎藤理事長は創立 50 年間の工組の歩みについて触れ、東京が全国の模範となるべく意気込みを述べられました。

引き続き来賓として招かれた神奈川県工組の大久保理事長、東京都議会公明党の東村幹事長の祝辞の後、太平洋セメント株式会社東京支店の森支店長の乾杯発声により、祝賀式は盛会に執り行われました。

2024年度　ゴールデンウィーク休業日一覧表

工場名＼日付	4月 27 土	28 日	29 月	30 火	5月 1 水	2 木	3 金	4 土	5 日	6 月	7 火	8 水	9 木	10 金	11 土
植木生コン		×	×				×	×	×	×					×
城北小野田レミコン	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					×
豊川興業	×	×	×				×	×	×	×					×
横山産業　川口		×	×				×	×	×	×					
関東コンクリート	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					×
八洲コンクリート	×	×	×				×	×	×	×					×
内山アドバンス　草加	×	×	×				×	×	×	×					×
日立コンクリート　戸田橋	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					×
埼玉エスオーシー　戸田	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					×
柳下生ｺﾝ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					×
横山産業　大和		×	×				×	×	×	×					
芹澤建材		×	×				×	×	×	×					
東京コンクリート　久留米	×	×	×		×	×	×	×	×	×					×
三多摩ｱｻﾉｺﾝｸﾘｰﾄ	×	×	×				×	×	×	×					×
宍戸コンクリート工業		×	×				×	×	×	×					×
むさしの生コン	×	×	×				×	×	×	×					×
武蔵菱光コンクリート	×	×	×				×	×	×	×					×
内山コンクリート工業	×	×	×				×	×	×	×					×
東京菱光コンクリート	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					×
東京エスオーシー　芝浦	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					×
関東宇部コンクリート工業　品川		×	×				×	×	×	×					
青木コンクリート		×	×				×	×	×	×					
井口生コンクリート工業		×	×				×	×	×	×					
河島コンクリート工業		×	×				×	×	×	×					
鈴木コンクリート工業		×	×				×	×	×	×					
大功コンクリート工業		×	×				×	×	×	×					
トウザキ	×	×	×				×	×	×	×					×
協組事務局	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					×

工場名＼日付	4月 27 土	28 日	29 月	30 火	5月 1 水	2 木	3 金	4 土	5 日	6 月	7 火	8 水	9 木	10 金	11 土
桐生レミコン	×	×	×				×	×	×	×					×
内山アドバンス　城南	×	×	×				×	×	×	×					×
関東宇部コンクリート工業　大井		×	×				×	×	×	×					
東京湾岸産業		×	×				×	×	×	×					
宮松エスオーシー　りんかい		×	×				×	×	×	×					
川崎徳山生コンクリート		×	×				×	×	×	×					×
カナリョウ	×	×	×				×	×	×	×					×
第一コンクリート		×	×				×	×	×	×					×
川崎宇部生コンクリート	×	×	×				×	×	×	×					×
川崎内山アドバンス		×	×				×	×	×	×					×
神奈川秩父レミコン		×	×				×	×	×	×					
溝口瀬谷レミコン		×	×				×	×	×	×					
多　摩	×	×	×				×	×	×	×					×
大　角		×	×				×	×	×	×					
関東宇部コンクリート工業　溝の口	×	×	×				×	×	×	×					×
宮松エスオーシー　川崎		×	×				×	×	×	×					
日本強力コンクリート工業	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					×
東京トクヤマコンクリート	×	×	×		×	×	×	×	×	×					×
関東宇部コンクリート工業　豊洲	×	×	×				×	×	×	×					×
吉田建材　若洲	×	×	×				×	×	×	×					×
吉建エスオーシー　新砂	×	×	×				×	×	×	×					×
上陽レミコン　東京	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					×
東京コンクリート　砂町	×	×	×		×	×	×	×	×	×					×
東京エスオーシー　業平橋	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					×
内山アドバンス　第二	×	×	×				×	×	×	×					×
内山アドバンス　第一	×	×	×				×	×	×	×					×
関東宇部コンクリート工業　浦安	×	×	×		×		×	×	×	×					×
市川菱光	×	×	×				×	×	×	×					×
東京エスオーシー　市川	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					×
船橋レミコン	×	×	×				×	×	×	×					×
日立コンクリート　新砂		×	×				×	×	×	×					
松戸生コンクリート		×	×				×	×	×	×					

わが社の安全対策　神奈川秩父レミコン株式会社

わが社は、1963 年操業開始し今年で 61 年目を迎えます。創業当初から大型プラント 2 基を稼働させ、その優位性を生かした高強度や高流動をはじめとする特殊コンクリートを製造・納入しています。

毎年、「安全と品質最優先」を年度方針の最重要項目に掲げているものの、災害事故が“０”とはなっておりません。

現在、日常的に行っている安全対策と今後の取り組みについて以下記載いたします。

①安全意識の向上(何度も声かけ)

朝礼、終礼時には作業内容の確認と共に、危険個所や作業上の注意事項を確認しています。特に修繕等の非定時作業は、リスクが多く、何度も皆で声を掛け合う事としています。

②修繕、斫り作業は複数で実施

点検は、一人で行っても修繕や斫り作業は必ず複数で実施する事にしています。

また、これらの作業時には十分に休憩を取り、飲料の提供も行っております。

③作業環境の整備

整理整頓されている製造工場では、故障や異常の発見が迅速に行えます。また、作業環境を整えることで外部からも魅力ある仕事場になりえます。

今年、事務所を改築する際には女性トイレを増設し、全面禁煙として喫煙所は別途設置しました。夏期の熱中症対策の飲料が提供できる冷蔵庫も常備いたしました。

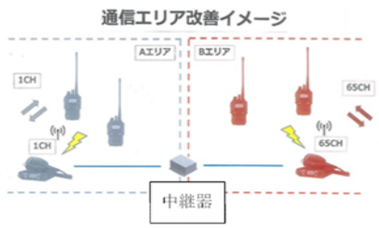
輸送会議開催状況

④パトロールの実施と改善報告

グループ 9 工場の工場長会議を 1 回/２ヶ月開催し、各主催工場の安全パトロールを実施しております。参加者が指摘事項、見習うべき事項を発表し、次回の会議までに改善報告を行っております。

⑤アナログとデジタルの双方活用

月に一度の部署毎の安全会議を定例化し、納入現場や構内作業における注意事項を対面で伝えます。これは、経験の豊富なベテラン社員がノウハウを伝えるうえでも重要な話し合いの場です。

また、構内作業員（製造担当）は無線機を常備携行し、オペレーターとの迅速な対応を行います。今後は骨材サイロ下等の無線が届かないところにも下図のような中継器を設置し、通信が可能になるよう検討しています。これは、デジタル機器の扱いが得意な若手社員が活躍する場です。

このように、従業員数が限られる中、経験の豊富な従業員との対面による話し合いと若手従業員が得意なデジタルや IT 技術を上手く組み合わせる事で、事故“０”を達成したいと思います。